

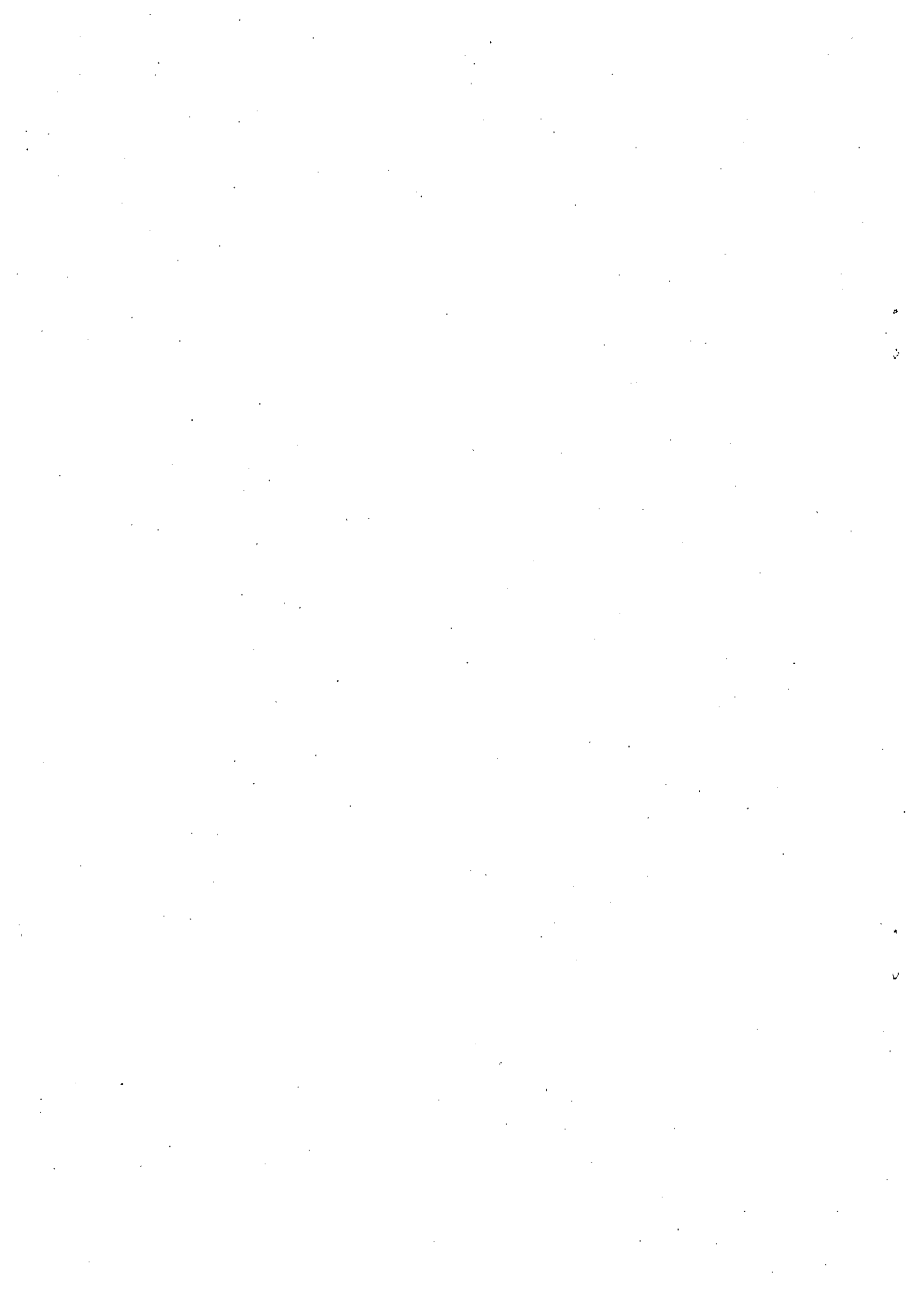
総務教育常任委員会資料

(平成28年12月15日)

〔 件 名 〕

- ・カタカナ語（外来語など）の使用指針の策定について【政策法務課】・・・1

総 務 部



カタカナ語（外来語など）の使用指針の策定について

平成28年12月15日
政策法務課

公文書には、いわゆるカタカナ語が多く用いられていますが、その中には一般的にはあまり定着しておらず、意味のわかりにくいものも多く見受けられます。県民に分かりやすく、理解してもらえる公文書であるために、カタカナ語を安易に公文書に用いることなく、適切な日本語に言い換えるなど分かりやすくする配慮を行う必要があることから、この度カタカナ語の使用に当たっての考え方の目安となる指針を策定しました。

1 カタカナ語の定義

外来語・外国語のほか、和製英語やアルファベットを使用した略語（頭字語）や通称を含む。

2 外来語・外国語等の取扱い

(1) 広く一般的に使われ、既に定着しているもの⇒そのまま使用することができる

<考え方>

- ・年齢・職業等にかかわらず、誰もが理解することができる用語か
- ・特定の専門領域のみで使用されている用語ではないか
- ・複数の概念を併せ持っていたり、意味が曖昧な用語ではないか

ア 既にカタカナ語として日本語に定着していると考えられるもの

例：アイデア、イメージ、ストレス、ボランティア、リサイクル

イ 人名、地名、国名、会社名など固有のものを指し示す語、あるいは計量・通貨などの単位を表す語であって、言い換える必要がないもの

ウ 他で使用されている言葉等を引用する場合

(2) 一般への定着が十分でないもの

ア 分かりやすい言い換えが可能なもの

①使用しない（日本語に言い換える）

例：アウトソーシング→外部委託、アジェンダ→行動計画

②日本語を併記して使用する

例：インサイダー（内部関係者）、ガイドライン（指針）

イ 分かりやすい言い換えが困難なもの

①使用しない

②注釈や説明を加えて使用する

③その他分かりやすくなるよう工夫する（前後の文章から意味が分かるようにする）

3 アルファベットを使用した略語（頭字語）・通称等の取扱い

(1) 広く定着していると考えられるもの⇒そのまま使用することができる

ア 和訳などの併記なく、単独で使われる場合が定着しているもの

例：PTA、PR、NTT、JR

イ 他で使用されている言葉等を引用する場合

- (2) 一般への定着が十分でないと考えられるもの
⇒略語、略さない表記、和訳語、注釈等を適切に組み合わせて表記する。
- ①ADR（裁判外紛争処理制度）
 - ②裁判外紛争処理制度（ADR）
 - ③ADR（Alternative Dispute Resolution：裁判外紛争処理制度）

4 その他一般的な注意事項など

- (1) カタカナ語の専門用語をその専門領域の関係者に対して用いる場合などは、日本語へ言い換えると、かえって理解を妨げる場合があるので、状況によっては言い換え等を行わない判断をすることもできる。
- (2) その言葉の意味が分からないと文章全体の理解に支障が生じるような重要語についてのカタカナ語の使用は、より一層慎重に取り扱うこと。
- (3) 国や他の地方公共団体が使用しているカタカナ語であっても、安易な使用は控える。
- (4) 新しい事業や計画等の名称にカタカナ語の造語を使うこともよく見受けられるが、その場合も、この指針の取扱いに沿って判断すること。
- (5) カタカナ語の専門用語の多い報告書、計画書などには用語説明欄を設けること。

カタカナ語（外来語など）の使用指針

平成28年12月
総務部政策法務課

1 基本的な考え方

県の職員が職務上作成し、又は取得し、組織的に用いる文書である公文書は、当然のことながらその内容である情報や意思などを正確に伝える役割を果たすものでなければならず、併せて、県としての諸活動や歴史的事実を記録として残すことにより、これらの事実を一般の県民に対して説明し、県民の知る権利を保障する役割を果たすものでもあります。

そのため、公文書を作成するに当たっては、記載されている内容が正確であることはもちろんのこと、それが県民に分かりやすく伝わるかどうか、理解されるかどうかという点が大切になります。意味の分かりにくい言葉や曖昧な表現を公文書に用いることは、文章全体の意味の理解に支障をきたし、文書の伝達機能を弱めるとともに、県民が県政の情報を知ること、すなわち県民の知る権利を妨げることにつながることがあります。

特に、いわゆるカタカナ語は、これまで日本になかった事物や思考などを表現するのに便利であることから、現在様々な文書で多く用いられ、国や他の地方公共団体でも頻繁に使用されていますが、中には、一般にはあまり定着しておらず、意味の分かりにくいものも多く見受けられます。

このため、広く一般的に使われ既に日本語として定着しているようなものを除き、カタカナ語を安易に公文書に用いることなく、適切な日本語に言い換える、あるいは注釈を加えるなど分かりやすくする配慮を行う必要があります。

なお、この指針で示したカタカナ語の取扱いは、あくまで目安であり、その時々状況により、何が県民にとって分かりやすいかという観点から取扱いの判断をしてください。

2 カタカナ語の定義

「カタカナ語」には、外来語・外国語のほか、和製英語やアルファベットを使用した略語（頭字語）や通称を含みます。

3 カタカナ語の取扱い

別表のとおり

4 その他一般的な注意事項など

- (1) カタカナ語の専門用語をその専門領域の関係者に対して用いる場合などは、日本語へ言い換えると、かえって理解を妨げる場合があるので、状況によっては言い換え等を行わない判断をすることもできる。
- (2) その言葉の意味が分からないと文章全体の理解に支障が生じるような重要語についてのカタカナ語の使用は、より一層慎重に取り扱うこと。
- (3) 国や他の地方公共団体が使用しているカタカナ語であっても、安易な使用は控える。
- (4) 新しい事業や計画等の名称にカタカナ語の造語を使うこともよく見受けられるが、その場合も、この指針の取扱いに沿って判断すること。
- (5) カタカナ語の専門用語の多い報告書、計画書などには用語説明欄を設けること。

別表

I 外来語・外国語等

分類	取扱い	考え方、用例など
1 広く一般的に使われ、既に定着しているもの	そのまま使用することができる	<p>広く一般的に使われ、既に日本語として定着しているかどうかを判断する際は、以下の点を考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢・職業等にかかわらず、誰もが理解することができる用語か。 ・特定の専門領域のみで使用されている用語ではないか。 ・複数の概念を併せ持っていたり、意味が曖昧な用語ではないか。 <p><そのまま使用することができるカタカナ語の例></p> <p>ア 既にカタカナ語として日本語に定着していると考えられるもの (例) アイデア、イメージ、ストレス、スポーツ、ボランティア、リサイクル など</p> <p>イ 人名、地名、国名、会社名など固有のものを指し示す語、あるいは計量・通貨などの単位を表す語であって、言い換える必要がないもの</p> <p>○人名、地名等 (例) アインシュタイン、エジソン、イタリア、カリフォルニア など</p> <p>○計量・通貨などの単位 (例) メートル、リットル、キログラム、パーセント、ヘクタール、ドル、ユーロ など</p> <p>ウ 他で使用されている言葉等を引用する場合</p> <p>○法令からの引用 (例) 市場デリバティブ取引（金融商品取引法に規定） など</p> <p>○国の計画等からの引用 (例) 国立公園を「ナショナルパーク」にするという政府の観光ビジョン実現プログラム2016の方針を受け・・・ など</p>

2 一般への定着が十分でないもの		
(1) 分かりやすい言い換えが可能なもの	<p>① 使用しない（日本語に言い換える）</p> <p>② 日本語を併記して使用する</p>	<p>一般への定着が十分でないカタカナ語は、適切な言い換えが可能であれば、原則として日本語に言い換える。</p> <p>また、一般には定着していると思われるものでも、年齢等により認知度に差があると思われるカタカナ語については、日本語を併記するなどして伝える相手方に配慮すること（その言葉が再度登場する場合は、カタカナ語のみでもよい。）。</p> <p>なお、言い換えに当たっては、国立国語研究所の「外来語言い換え提案」も参考にすること。</p> <p>①の例 アウトソーシング→外部委託、アジェンダ→行動計画、プロトタイプ→原型 など</p> <p>②の例 インサイダー（内部関係者）、ガイドライン（指針）、マスタープラン（基本計画）、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） など</p>
(2) 分かりやすい言い換えが困難なもの	<p>① 使用しない</p> <p>② 注釈や説明を加えて使用する</p> <p>③ その他分かりやすくなるよう工夫する（前後の文章から意味が分かるようにするなど）</p>	<p>一般への定着が十分でないもので、適当な日本語への言い換えができなかったり、言い換えが困難なものは、そもそも使用しないことが望ましい。やむを得ず使用しなければならない場合には、注釈や説明を加えたり、その他分かりやすくなるような工夫をすること。</p> <p>②の例 クラウドファンディングを活用した起業・創業の資金調達の支援について、本県では・・・</p> <p>注）：クラウドファンディングとは、個人や企業等がインターネットを介してアイデアや事業計画を紹介し、それに共感・賛同する不特定多数の人から広く資金を集める資金調達の仕組み。</p> <p>⇒ 文章の外で説明する例。文章の量が多い場合、巻末等に用語説明などとしてまとめて掲載する方法もある。）</p> <p>③の例 障がいのある人とない人が、身近で共に生活していく社会が普通の状態であるというノーマライゼーションの理念を基本として・・・</p>

Ⅱ アルファベットを使用した略語・通称等

分類	取扱い	考え方、用例など
1 広く定着していると考えられるもの	そのまま使用することができる	<p>ア 和訳などの併記なく、単独で使われる場合が定着しているもの (例) PTA、PR、NTT、JR など</p> <p>イ 他で使用されている言葉等を引用する場合 (例) 鳥取県HACCP適合施設(鳥取県食品衛生条例に規定) など</p>
2 一般への定着が十分でないと考えられるもの	<p>① 略語にかっこ書きで和訳語、注釈等を付ける</p> <p>② 和訳語にかっこ書きで略語を付ける</p> <p>③ 略語にかっこ書きで省略しない形を表記した上で、和訳語の併記や注釈を付ける</p>	<p>一般への定着が十分でないアルファベットを使用した略語については、略語、略さない表記、和訳語、注釈等を適切に組み合わせて分かりやすい表記とする。なお、その略語が再度登場する場合は、略語のみでもよい。</p> <p>①の例 ADR(裁判外紛争処理制度)、NPO法人(特定非営利活動法人)、ODA(政府開発援助)、LCC(格安航空会社) など</p> <p>②の例 裁判外紛争処理制度(ADR)、特定非営利活動法人(NPO法人)、政府開発援助(ODA)、格安航空会社(LCC) など</p> <p>③の例 ADR(Alternative Dispute Resolution: 裁判外紛争処理制度) など</p>

【参考】

- ・外来語の表記(平成3年内閣告示第2号)
- ・外来語言い換え提案(国立国語研究所)

第1回～4回 「外来語」言い換え提案 言い換え語等の一覧(抜粋)

★☆☆☆ その語を理解する人が国民の4人に1人に満たない段階
 ★★☆☆ その語を理解する人が国民の2人に1人に満たない段階
 ★★★☆☆ その語を理解する人が国民の4人に3人に満たない段階
 ★★★★☆☆ その語を理解する人が国民の4人に3人を超える段階

全体	60歳以上	外来語	言い換え語	意味説明	その他の言い換え語例	複合語例
★☆☆☆	★☆☆☆	アーカイブ	保存記録 記録保存館	個人や組織が作成した記録や資料を、組織的に収集し保存したものを。またその施設や機関。	記録 資料 史料 公文書館 文書館 資料館 史料館	デジタルアーカイブ = 保存電子資料 電子資料館 = ファイルムアーカイブ = 保存映画資料 映画資料館
★☆☆☆	★☆☆☆	アクションプログラム	実行計画	実行に移すための具体的な計画	行動計画 実行手順	
★☆☆☆	★☆☆☆	アジェンダ	検討課題	公式に取り組みべき検討課題	議題 行動計画	
★☆☆☆	★☆☆☆	イニシアチブ	(1) 主導 (2) 発議	(1) 自ら率先して先頭に立ち、他を導くこと (2) 率先して提唱する政治の方針	(1) 率先 主導権 (2) 構想 行動計画 住民発議	
★☆☆☆	★☆☆☆	イノベーション	技術革新	経済や産業などの発展につながる、技術や仕組みの革新	経営革新 事業革新 革新	
★☆☆☆	★☆☆☆	オンデマンド	注文対応	注文に応じて速やかにサービスを提供すること	受注対応 注文即応 受注生産	オンデマンド出版 = 注文出版 オンデマンド印刷 = 注文印刷
★☆☆☆	★☆☆☆	ガイドライン	指針	政策などを運用するための指針や手引き	運用指針 手引き	
★☆☆☆	★☆☆☆	グローバルゼーション	地球規模化	もごとの規模が国家の枠組みを越え、地球全体に拡大すること	地球一体化 全球化	
★☆☆☆	★☆☆☆	ケア	手当て 介護	放っておくことができないものへの手当て	看護 手入れ	デイケア = 日帰り療養, 通所リハビリ メンタルヘルスケア = 心の健康づくり
★☆☆☆	★☆☆☆	コンテンツ	情報内容	電子媒体を通してやりとりされる情報の内容	内容 中身 番組	

全体	60歳以上	外来語	言い換え語	意味説明	その他の言い換え語例	複合語例
★☆☆☆	★☆☆☆	シーズ	種	将来に大きな発展を予想させる新技術	種子 技術の種	
★☆☆☆	★☆☆☆	スキル	技能	訓練によって身につけることができ、技術上の能力	技術 能力 習得技能	スキルアップ = 技能向上
★☆☆☆	★☆☆☆	セーフティネット	安全網	経済的な危機に陥っても、最低限の安全を保障してくれる、社会的な制度や対策	安全保障制度 安全対策	
★☆☆☆	★☆☆☆	セキュリティ	安全	犯罪などから安全を守ること	安全性 防犯 保安	サイバーセキュリティ = インターネット社会の安全性 ホームセキュリティ = 家庭向け防犯 ナショナルセキュリティ = 国家安全保障
★☆☆☆	★☆☆☆	タスクフォース	特別作業班	特定の課題について短期間で解決をはかるために、特別に編成された集団		
★☆☆☆	★☆☆☆	デイサービス	日帰り介護	施設における日帰りの介護サービス	日帰りサービス 通所介護	
★☆☆☆	★☆☆☆	ネグレクト	(1) 育児放棄 (2) 無視	(1) 親などが、保護者として行わなければならない乳幼児や児童の養育を放棄すること (2) 取り合わず無視すること	(1) 介護放棄 世話の放棄	
★☆☆☆	★☆☆☆	ノーマライゼーション	等生化 等しく生きる社会の実現	障害のある人も、一般社会で等しく普通に生活できるようにすること	共生化 福祉環境作り	
★☆☆☆	★☆☆☆	バーチャル	仮想	現実そっくりにつくられ、あたかも現実の世界であるかのような様子	仮想世界	バーチャルモータル = 電子商店街 バーチャルリアリティ = 仮想現実 人工現実感

全体	60歳以上	外来語	言い換え語	意味説明	その他の言い換え語例	複合語例
★☆☆☆	★☆☆☆	バイオマス	生物由来資源	エネルギーなどとして利用することができる、生物に由来する資源	植物由来資源	バイオマスエネルギー = 生物由来エネルギー = バイオマスプラスチック = 植物由来プラスチック
★☆☆☆	★☆☆☆	ハイブリッド	複合型	異種のもの同士が組み合わせられ、新しいものができたもの。	複合 複合物 異種混合	ハイブリッド車、ハイブリッドカー = 複合動力車 ハイブリッド発電 = 複合発電 ハイブリッド型 = 複合型 ハイブリッド式 = 複合式
★☆☆☆	★☆☆☆	ハザードマップ	災害予測地図	防災を目的に、災害に遭う地域を予測し表示した地図	災害危険予測地図	火山ハザードマップ = 火山災害の予測地図 火山 の防災地図 洪水ハザードマップ = 洪水災害の予測地図 洪水 の防災地図
★☆☆☆	★☆☆☆	パブリックコメント	意見公募	行政による施策を原案段階で公表し、市民一般から意見を募り、その上で意志決定を行う手続	意見提出手続 公募意見 一般から提出された意見の意見	パブリックコメント手続 = 意見提出手続
★☆☆☆	★☆☆☆	バリアフリー	障壁なし	体の不自由な人でも支障なく活動できるような生活環境	無障壁 段差なし	バリアフリー化 = 無障壁化、障壁除去
★☆☆☆	★☆☆☆	ビジョン	展望	将来、望まれるものとして、心に描く展望	画面	
★☆☆☆	★☆☆☆	フィルタリング	選別	必要なものと不要なものをより分け	情報選別 より分け	
★☆☆☆	★☆☆☆	プレゼンテーション	発表	企画や発案などを分かりやすく発表すること	説明 提示 提案	
★☆☆☆	★☆☆☆	フレックスタイム	自由勤務時間制	始業や終業の時間を従業員が自由に選択できる就業方法	時差勤務	フレックスタイム制 (度) = 自由勤務時間制 (度)
★☆☆☆	★☆☆☆	マスタープラン	基本計画	全体の基本となる計画		

全体	60歳以上	外来語	言い換え語	意味説明	その他の言い換え語例	複合語例
★★☆☆	★★☆☆	マネジメント	経営管理	経営や運営について、組織だつて管理すること。	運営管理 管理 管理者	アセットマネジメント = 資産運用 在宅介護支援センター = マネジメント = 危機管理 マネジメンシステム = 管理システム
★★☆☆	★★☆☆	マンパワー	人的資源	特定の仕事にあてがうことのできる、人間の働き	労働力 人材	
★★☆☆	★★☆☆	ミッション	使節団、使命	ある目的のため、主に海外に派遣される団体。また、その団体が果たすべき任務	使節 派遣団 任務	
★★☆☆	★★☆☆	メンタルヘルス	心の健康	心の健康を保つこと	精神保健 精神衛生	メンタルヘルスケア = 心の健康づくり
★★☆☆	★★☆☆	モータリゼーション	車社会化	自家用車の普及・大衆化	車社会	
★★☆☆	★★☆☆	モチベーション	動機付け	ものごとに取り組み意欲を内側から高める働きかけ	意欲 やる気 士気	
★★☆☆	★★☆☆	モニタリング	継続監視	継続的に観測して監視すること	監視 観測	モニタリングポスト = 放射線観測装置
★★☆☆	★★☆☆	ユニバーサルデザイン	万人向け設計	障害者や高齢者なども含め、誰にでも使いやすい形に、設計すること	誰にでも使いやすい設計	
★★☆☆	★★☆☆	ライフライン	生活線	生活に不可欠な水道・ガス・電気などの供給路	生命線 命綱 光熱水路	
★★☆☆	★★☆☆	ワーキンググループ	作業部会	委員会などの中に設置される、具体的・実務的な作業や調査をする集まり		
★★☆☆	★★☆☆	ワークシェアリング	仕事の分かち合い	一人当たりの労働時間を短くし、多くの人で仕事を分かち合うこと	多様な働き方のできる職場環境の整備	